

未来の刈谷創造室

室長 小松優

時代の変化や環境の変化に伴い人々の生活が多様化する中で、未来の刈谷市をより住みよいまちにする必要があります。当団体が地域と共に課題解決に向け率先して活動し、地域の人々を行動から意識変革へとつなげSDGsを浸透させていく必要があります。

本年度、室長としてSDGs推進委員会には、自身の知識を活かしてSDGsの取り組みをまちづくりへとつなげる方針とします。未来の刈谷をさらに住みよいまちとするために、若い世代とまちの課題を共有し、SDGsを指針に課題解決に向けた具体的な取り組みを考える事で、SDGsに対するより高い意識を醸成します。総務広報委員会には、最大のミッションとして集客力を高める事に焦点を置いた方針とします。当団体が行う運動を高い成果へつなげるために、デジタルとアナログの特性を活かした広報の仕組みを構築します。そして、各委員会の例会や事業のPRを広報委員会がフォローする事で、組織全体の集客力を向上させます。さらに、未来の刈谷創造室として、2つの特性を活かした広報によって当団体の運動に参加する人々が集まり、まちづくりの重要なテーマとなるSDGsが地域の人々に広く浸透し、住みよい未来の刈谷を創造する1年間の深い轍を残します。

今まで培った経験を活かし、異なった視座から物事を考察する事で両委員会の特性を活かした活動へと導きます。両委員会が思う存分に活動できる環境を整える事で近藤理事長の所信を具現化し、刈谷市の持続可能な未来へとつながるよう1年間委員長と共にチャレンジしてまいります。